

語学教材の出版を手掛けるアルクが17日発表した2011年1月期連結決算によると、最終損益が3億5000万円の赤字（決算期変更の影響で8カ月決算だった前の期は2億6400万円の赤字）だったことがわかった。従来予想は2800万円の黒字。通信教材など棚卸資産の評価減や、利益率の低い研修事業の増加で採算が悪化したという。アルクの売上高は75億円（同44億円）。